

< 2月定例研究会の報告 >

平成30年2月24日（土）、当研究所で定例研究会を行いました。
今回の研究会のテーマは、文字学習です。
午後5時から研究授業、午後5時30分から研究協議を行いました。

研究授業者：高橋幸恵（つばき教育研究所スタッフ）
対象者：施設に通所している方
テーマ：文字学習
学習内容：「清音の単語構成」

1. 学習経過

(1) 既習の学習

- ① 基礎学習
- ② 文字の学習（単語構成の学習：清音、濁音、半濁音、拗音、長音、拗長音、促音）
- ③ 文の構成（助詞1つの文、助詞2つの文）
- ④ 形容詞の学習

(2) 「色名の学習」の学習経過

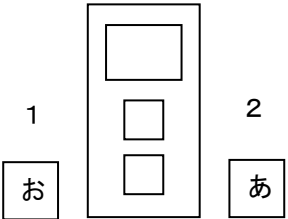
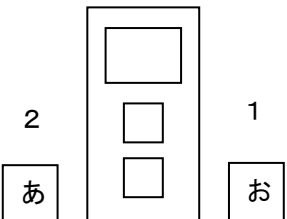
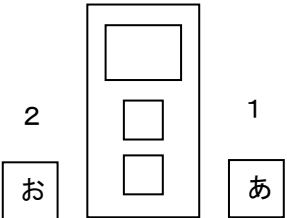
- ① 具体物と同じ色の色板の選択
- ② 色名の単語構成
 - 既習の色名：「くろ」「あか」「ピンク」「しろ」「きいろ」「みどり」
 - 現在学習中の色名：「あお」
- ③ 既習の色名の復習
 - 呈示された色板を見て、色名（単語カード）を選択する。
 - 呈示された色名（単語カード）を見て、色板を選択する。
 - 50音表上で、文字を指さしして色名（単語）を綴る。

2. 本時の学習

(1) 学習課題・ねらい・教材

学習課題	ねらい	教材
文字の学習 2文字の 色名の単語構成 [あお]	<ul style="list-style-type: none">● 色名を一緒に言うことができる。● 文字カードを順に選び、2文字の単語構成ができる。● 構成した単語を読むことができる。● 構成した単語を指導者と一緒に書くことができる。	<ul style="list-style-type: none">● 青色の色板● 2文字の単語構成板● あ、おの文字カード (3.5×3.5cm)● 2マスの書字用紙● 書字用紙の滑り止めマット● 書字の補助具
文字の学習 色名の復習 [くろ][あか]	<ul style="list-style-type: none">● 50音表上で、文字を指さしして、呈示された色板の色名を綴ることができる。	<ul style="list-style-type: none">● 黒色の色板● 赤色の色板● 50音表

(2) 展開

学習課題	学習内容	留意点
(1) 挨拶	単語カード「はじめます。」を見ながら、「はじめます。」と一緒に言う。	1音ずつ発声するよう促す。
(2) カレンダーを見る。	数字カード「2」、「8」、「11」から、2月の「2」を選択する。	数字カードを1つずつよく見せる。見たことを確認する。
(3) 季節の確認	季節名の書かれた絵カード4枚から、冬の絵カードを選択する。	絵カードを1つずつよく見せる。見たことを確認する。迷う様子が見られる前に教える。
(4) 季節のことば	「ひなまつり」に関連した具体物や写真を見る。そして、名称と一緒に言う。 「ひなまつり」について書かれた短文と一緒に読む。	名称を1音ずつ発声するよう促す。
<p>(5) 2文字の色名の単語構成 [あお]</p> <p>【1試行目】 利き手側後出し</p>  <p>【2試行目】 反利き手側後出し</p>  <p>【3試行目】 利き手側先出し</p> 	<p>【1試行目】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①色板を見て、「[あお]」と発声する。 ②文字カードを入れるマス目への指さしに合わせて「[あ・お]」と発声する。 ③呈示された文字カード「あ」、「お」を、よく見る。 ④文字カードを順に選び、構成する。 ⑤色板を見て、「[あお]」と発声する。 文字カード「あ」、「お」への指さしに合わせて「[あ・お]」と発声する。 「これと、これは、お・な・じ」 ⑥ [あお] を書く。 全面的に援助して、一緒に書く。 指導者が一画ずつ下書きをしながら書く。 ⑦書いた文字と一緒に読む。 <p>【2試行目】 文字カードの呈示順序以外は、1試行目と同様に行う。</p> <p>【3試行目】 文字カードの呈示順序以外は、1試行目と同様に行う。</p>	<p>指導者が先に言う。 発声が見られないときは、「あ、お、一緒に言うよ。」と言って、促す。 呈示の際は、文字カードを見たことを確認する。 文字カードを入れるマス目を指さししながら「ここ（に入るのはどれ?）」と言い、文字カードを見たことを確認する。 対象者が文字カードを指さしたら、指導者は「そうだね」と言って構成板に文字カードを入れる。 対象者の手に補助具をしっかりと握らせて援助しながら一緒に書く。</p>

(6) 色名の復習 [くろ] [あか]	黒色の色板を見て、50音表上で、文字を指さしして [く・ろ] と綴る。 ※赤色も同様に行う。	指導者は指さされた文字を書く。
(7) 挨拶	単語カード「おわります。」を見ながら、「おわります。」と一緒に言う。	1音ずつ発声するよう促す。

3. 研究協議

研究授業終了後、研究協議を行いました。特別支援学校の先生方・保護者の方などの参加がありました。

研究協議は、(1) 授業者からの補足説明、(2) 質疑応答・感想、(3) 研究授業・研究協議まとめ、の順番で進めました。

(1) 授業者からの補足説明

- ・ 2文字の色名の単語構成 [あお] の1試行目で迷う様子が見られたので、2試行目以降の呈示を変更した。

変更前 1試行目：利き手側後出し、2試行目：反利き手側後出し、3試行目：利き手側先出し

変更後 1試行目：利き手側後出し（指導者が指さしして教える）

2試行目：利き手側後出し

3試行目：反利き手側後出し（指導者が指さしして教える）

なお、[あお] の学習は今回が3回目であり、1対1対応の呈示を外したのは今回が初めてである。

- ・ 色名の復習 [くろ] [あか] の学習の後、対象者が [くろのイヤリング] [あかのイヤリング] のうち、好きな方を選択する、という学習も行った。

今後、色名の学習を、実生活での興味関心の拡がりに結びつけたいと考えている。

(2) 質疑応答・感想

<参加された方からの質問>

- ◆ 学習する色名の選定基準は？

⇒ 「対象者の好きな色」「字形の近い色名を続けて行わない（くろの次にしろは行わないなど）」という観点で、保護者の方と相談して決めている。

- ◆ なぞり書きをするための下書きの意味について

⇒ 始点の位置、線分の方向性を教えるために行っている。下書きは色名学習に差し支えないような色（※茶とグレーを混ぜたような色）の色鉛筆を使い、なぞり書きをするときには黒サインペンを用いている。

<参加された方の感想>

- ・ 長年通って学習を積み重ねている方なので、とても落ち着いており、学習に向かう姿勢ができていると思った。
- ・ 学習の基本に対象者と指導者との信頼関係があると感じた。自分も担当している子どもと信頼関係が作れるようになってほしいと思う。
- ・ 成人の方の机上学習を見させていただいて、障害のある方の生涯学習の必要性を感じた。
- ・ 単語構成時に間違えさせてしまったとき、次の試行で間違えさせないための援助、手立てがもっと必要だったのではないかと感じた。

(3) 研究授業・研究協議まとめ

理事長からは、“文字の学習”について話がありました。

「文字の学習は、清音の1文字の学習（て、め、は）から行います。それから、2文字（いす、あしなど）、3文字、4文字、5文字の学習へと進めます。清音の次は、濁音、半濁音、拗音、長音、拗長音、促音の順に学習を行います。

単語構成では、①文字カードを上から順番に構成すること、②1文字ずつ読めるようになることの、両方の学習を行います。単語「あお」の学習を例にとると、「あ・お」と順番に言い、あ、おの順に書くので、あより先におの文字カードを単語構成板の2文字目の枠に置いても正解にはなりません。

50音の2／3くらい覚えたら、50音表を使って、指さししながら一緒に読む学習を行います。」

また、この方に関しては、「文の構成、文の理解の学習を行うとよい」との助言がありました。

参加された方からは、より良い学習方法や教材に関しての様々な感想や質問があり、とても有意義な時間となりました。

次回の定例研究会は、6月30日（土）開催予定です。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。